

『「令和2年度以降の幌延深地層研究計画（案）」に係る確認結果』に係る意見【受付期間：令和元年11月8日から令和元年11月27日まで】

整理番号	日付	住所	提出方法	意見の内容	備考	
1	11月12日	幌延町	FAX	1	・いかなる場合においても最終処分場となることは絶対反対です。そうなることのないよう、十分な確認をした上での延長をお願いいたします。	町内在住
				2	・NUMOの資金が投入されるのはとても不安である。文章の中に理解できない所があります。誰が見ても理解できる文章になることが望ましい。	
2	11月12日	幌延町	役場持参	3	・現状、原子力エネルギーを使用していて、将来的に廃棄物の処理に困るのがわかっているのに研究が未完のものもあり、途中で研究をストップすることは非常にもったいないことだと思う。	町内在住
				4	・深地層廃棄の研究は日々進歩しているので、せっかく350mまで掘った穴を埋め戻すことは時間を無駄にすることだと思います。	
				5	・研究者たちには環境が整った中で思う存分研究に力を入れていただきたい。	
				6	・幌延町に核廃棄物を持ち込まないのだから研究には協力すべきだと思う。	
3	11月13日	幌延町	FAX	7	・放射性廃棄物の処理処分については、我が国における原子力行政の喫緊の課題であろうと考えます。そのためにも幌延で行われている研究を充分尽くしていただく事が重要だと思います。	町内在住
				8	・期限を設けずに研究を行うべきだと考えます。	
4	11月14日	幌延町	問寒別出張所持参	9	・長期間が経過しているが、安全を確保しての研究なら続けるべき（最後まで）	町内在住
				10	・最後は三者協定を守る事（かならず）	
5	11月15日	幌延町	役場持参	11	・幌延深地層研究計画の延長に賛成する。	町内在住
				12	・研究の最中でやめることなく、しっかり研究に取り組み、成果をだすべき。	
6	11月15日	幌延町	役場持参	13	・核燃料廃棄物処理の研究は絶対必要です。研究を中途半端なまま終わらせるは良くないと思います。	町内在住
				14	・しっかりとした結論や技術が確立するまで研究は続けるべきだと思います。	
				15	・幌延町の経済のために、JAEAの研究継続をお願いします。	
7	11月20日	幌延町	メール	16	・確認会議の前段として、幌延町として町民になにの、なんの事項について確認を求めることへの周知は実施したのか否か	町内在住
				17	・町民としては前段の幌延町として確認事項を事前に示し、それから確認会議に臨み、結果を公表してから意見を求める手順であれば判断も可能であるが、ペーパー4枚程度の結果報告のようなことでは、確信的な印象は否めない。	
				18	・深地層に関する報告会等での説明会は開催されているものの、当然出席できない場合もある、町民にいきなり意見を求められても唐突感がある。	
				19	・深地層に関する報告会をDVD等で記録し、希望の町民に配布する手段も考えてほしい。また、庁舎、生涯学習センターなどで閲覧する、空DVDを持参した者にダビング、町自身でホームページで閲覧できるようになれば判断材料としての情報収集が広がると思う。	
				20	・今回配布された資料の内容からは妥当な結果だと思います。	
8	11月20日	幌延町	役場持参	21	・幌延深地層研究計画の令和2年度以降の継続に賛成します。日本の原子力事業にとって大変重要な研究事業と認識している。	町内在住
				22	・原子力発電所から出される特定放射性廃棄物の最終処分は避けては通れない事実であり、その処理の安全性や有効性を研究し、実証することが幌延深地層研究センターの目的と理解をしている。	

『「令和2年度以降の幌延深地層研究計画（案）」に係る確認結果』に係る意見【受付期間：令和元年11月8日から令和元年11月27日まで】

整理番号	日付	住所	提出方法	意見の内容	備考
				23 ・私は、この事業に当初から期限を設ける事に疑念を持っていました。「三者協定」の中でできうる研究はすべて納得のゆくまで行ってください。最終処分の実施段階での失敗は許されません。	
9	11月20日	幌延町	役場持参	24 ・原子力発電の廃棄物処理は、絶対的な安全が求められるもの。中途半端な研究結果で終わらせる事なく、万全なものにする為にも8年の延長ばかりでなく、何年かかっても研究を進めるべきと考えます。	町内在住
10	11月21日	幌延町	役場持参	25 ・8月に令和2年度以降の幌延計画での確認会議内容・必要性の所で「地層科学研究は、ほぼ終了したが、地層処分研究開発は継続が必要であり・・・」とありますが、この文言に「ほぼ終了したが」を取り上げて各方面・地方から、地層処分研究開発を後付けなので、三者協定・条例違反なのでおかしい、とか、研究を続けるための詭弁とか言って、中止しなさいと言う人達のインターネットやハガキ等で寄せられているようですが（私は10月のネット配信で読ませていただきました）「ほぼ終了したが」とは「ほぼ」は完全でないので、反対する人達には、よく御理解して欲しいですネ、この人達は北海道のこと日本国のためとか言ってますが、幌延町民の生活や環境を調べたり、見たり、聞いたりしたことがあるのでしょうか？多分、反対のための反対なのでしょう。	町内在住
				26 ・町民は、昭和59年ぐらいから動燃時代に近隣町村の人達から核関連施設誘致推進で手を上げたと言う事で白い目に見られ、35年間もの間、その人達に理解をしていただくためにいろいろな方面に頑張ってきたところです。	
				27 ・私は、現在の処分研究を国民の一人として最良の方法を見出すまで研究を進めていくべきと考えています。研究というものは未来へ原子力関係に限らず、どのような物にしる、必要不可欠であると思います。	
				28 ・例えばノーベル物理学賞をニュートリノという物質最小単位素粒子を1995年に発見、2002年に小柴さん、2015年に梶田さんの二人が受けていますが、小柴さんのお話の中に「100年くらいしないと役に立つか解らない」と言う様に研究というものは長い月日を経て、「成果が出るので10年や20年での結果を批判する事は時期尚早ではないか」と思います。	
11	11月11日	幌延町	問寒別出張所持参	29 ・現在、日本原子力研究開発機構は、幌延深地層研究計画に基づき地層科学研究や地層処分研究開発を着実に推進し、地域の経済も好影響を受けており、当初の三者協定計画の20年程度という研究期間を延長し、地域貢献及び及び日本の原子力政策やエネルギー政策にとって重要な役割を担うものである。よって、令和2年度以降の幌延深地層研究計画（案）の推進を要望します。	町内在住
12	11月14日	幌延町	問寒別出張所持参	30 ・研究の延長に賛成です。	町内在住
13	11月14日	幌延町	問寒別出張所持参	31 ・深地層研究計画に基づく延長に賛成です。	町内在住
14	11月12日	幌延町	問寒別出張所持参	32 ・研究の延長に賛成です。	町内在住
15	11月14日	豊富町	問寒別出張所持参	33 ・深地層研究計画に基づく延長に賛成です。	町内在勤
16	11月14日	幌延町	問寒別出張所持参	34 ・研究の延長に賛成です。	町内在住
17	11月14日	幌延町	問寒別出張所持参	35 ・深地層研究計画に基づく延長に賛成です。	町内在住
18	11月14日	幌延町	問寒別出張所持参	36 ・深地層研究計画に基づく延長に賛成です。	町内在住
19	11月14日	幌延町	問寒別出張所持参	37 ・研究の延長に賛成です。	町内在住
20	11月14日	幌延町	問寒別出張所持参	38 ・研究の延長に賛成です。	町内在住

『「令和2年度以降の幌延深地層研究計画（案）」に係る確認結果』に係る意見【受付期間：令和元年11月8日から令和元年11月27日まで】

整理番号	日付	住所	提出方法	意見の内容	備考
21	11月14日	幌延町	問寒別出張所持参	39 ・ 研究の延長に賛成です。	町内在住
22	11月14日	幌延町	問寒別出張所持参	40 ・ 研究の延長に賛成です。	町内在住
23	11月14日	稚内市	問寒別出張所持参	41 ・ 深地層研究計画に基づく延長に賛成です。	町内在勤
24	11月14日	豊富町	問寒別出張所持参	42 ・ 研究の延長に賛成です。	町内在勤
25	11月14日	天塩町	問寒別出張所持参	43 ・ 深地層研究計画に基づく延長に賛成です。	町内在勤
26	11月14日	稚内市	問寒別出張所持参	44 ・ 研究の延長に賛成です。	町内在勤
27	11月14日	稚内市	問寒別出張所持参	45 ・ 深地層研究計画に基づく延長に賛成です。	町内在勤
28	11月14日	天塩町	問寒別出張所持参	46 ・ 研究の延長に賛成です。	町内在勤
29	11月14日	豊富町	問寒別出張所持参	47 ・ 研究の延長に賛成です。	町内在勤
30	11月14日	天塩町	問寒別出張所持参	48 ・ 国及び幌延町のためにも延長に賛成です。	町内在勤
31	11月14日	幌延町	問寒別出張所持参	49 ・ 国及び幌延町のためにも延長に賛成です。	町内在住
32	11月14日	稚内市	問寒別出張所持参	50 ・ 研究の延長に賛成です。	町内在勤
33	11月14日	稚内市	問寒別出張所持参	51 ・ 深地層研究計画に基づく延長に賛成です。	町内在勤
34	11月14日	稚内市	問寒別出張所持参	52 ・ 研究の延長に賛成です。	町内在勤
35	11月14日	天塩町	問寒別出張所持参	53 ・ 深地層研究計画に基づく延長に賛成です。	町内在勤
36	11月14日	豊富町	問寒別出張所持参	54 ・ 深地層研究計画に基づく延長に賛成です。	町内在勤
37	11月22日	幌延町	役場持参	55 ・ 幌延深地層研究計画の必要性は充分にあると思います。幌延町が最終処分場にならないこと、放射性核種は持ち込まないことなどは、道や町の条例でもきちんとうたわれています。その上で、原子力発電所が廃炉になるにしろ、継続されるにしろ、最終処分が必要なことは確かなのですから、安全な技術の研究、開発は不可欠です。	町内在住
				56 ・ 今回の確認会議で、三者協定との整合性は確認されたと思いますので、研究の目的が果たされ、十分な成果が出るまで、必要な研究は続けるべきだと思います。	

『「令和2年度以降の幌延深地層研究計画（案）」に係る確認結果』に係る意見【受付期間：令和元年11月8日から令和元年11月27日まで】

整理番号	日付	住所	提出方法	意見の内容	備考	
38	11月20日	幌延町	幌延町生涯学習センター持参	57	・公表された確認結果は、確認会議の議事の要点が整理されており、一町民として研究計画（案）を考えるうえで参考になりました。	町内在住
				58	・現行の20年程度とされた期間内で、研究目的を達成できるよう努められたこと、必須の課題や国内外の地層処分を巡る状況の変化に対応するため、研究計画延長を必要とすることが理解できました。	
				59	・瑞浪と幌延の研究対象の違いや、瑞浪では研究目的を達成したことにより研究を終了し、研究施設が閉鎖・埋め戻しされることが理解できました。	
				60	・研究完了を検証するための達成水準や、完了の確認・評価の手順が示されており、これに則り研究が終了したときには、瑞浪の研究施設と同様に閉鎖・埋め戻しがされると確信できました。	
				61	・幌延町は、三者協定の当事者として、研究を円滑に推進できる環境の提供や、町民・道民が抱く懸念等の払拭に、より一層努めることが重要と考えます。	
39	11月19日	幌延町	メール	62	・地層処分に関する研究は、最終処分場が稼働するまでは必要ではないか。	町内在住
				63	・処分に係る技術開発は勿論ですが、処分に関わる人材育成のためにも研究継続は必要と思います。	
40	11月18日	幌延町	メール	64	・幌延町の深地層研究は幌延町および日本にとって有益であり、積極的に推進いただきたい。	町内在住
41	11月19日	幌延町	役場持参	65	<p>・下記理由により研究延長に賛成です。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 地層処分による地層他各種影響のデータ不足 2 地層処分先進地の動向等見ながら追加研究の必要が考えられる 3 500mでのデータ取得が必要と思われる 4 処分地に安心できるデータの提供が必要 5 国内での研究が当町1か所の為、研究は必要である <p>福島事故などの影響もあり、多くの原子力発電が止まっているが、長期間止まっていた機械を稼働するとトラブルが付き物のような気がする為、早期稼働を望む。また、原子力分野を目指す学生も減少していると聞くが、研究や技術が継続的でなくなる心配がある為、国策で始まった原子力政策の為、国が予算を増やし研究者技術者増を図り「原発稼働」「廃炉技術」「処分技術」総ての分野で原子力先進国となり、技術を他国に提供する事も望みます。</p>	町内在住
42	11月18日	幌延町	役場持参	66	・原子力発電をやめても廃棄物（核のゴミ）はある。自国で出した廃棄物を自国で処分できるよう一番現実的な方法を研究するのは当然であり必要である。よって、今回の研究延長も当然であり、より安全に処分できるよう、期間を決めず研究を続けるべきである。	町内在住
43	11月20日	幌延町	役場持参	67	・計画延長となることで、今までと同じように町に固定資産税等が入ることになり、町民である私たちの暮らしに役立つと思います。また、関連企業を含めると約2～3百人の人口を維持できることで商工業にとってもメリットを享受できることと思います。	町内在住
				68	・撤退→税収減少→人口減少→行政の衰退 につながってしまうことから、今後も幌延町に全国唯一の研究施設が残ることを期待します。	
44	11月25日	幌延町	役場持参	69	・日本で1カ所となった幌延での研究をやめてしまうと処分技術の進歩も止まってしまう。今ある核燃料廃棄物を安全に処分できるよう研究延長は必要である。	町内在住
45	11月25日	幌延町	役場持参	70	・計画延長は賛成です。今ある廃棄物そしてこれから出てくる核廃棄物はどうするのでしょうか？処分場の誘致と研究所の誘致は別の話です。未完の研究もある中で今、研究をやめてしまうのはこれまでの研究の意味がなくなります。さらには研究期限がきてもストップするのではなく、期限を定めず、より安全に処分ができるよう続けるべきです。	町内在住

『「令和2年度以降の幌延深地層研究計画（案）」に係る確認結果』に係る意見【受付期間：令和元年11月8日から令和元年11月27日まで】

整理番号	日付	住所	提出方法	意見の内容	備考
46	11月20日	幌延町	役場持参	71 ・幌延町、北海道の問題でなく、日本で1カ所となった地層処分研究をやめると日本の原子力政策に大きな問題になるのではないか。 1 地層処分のデータ不足では処分地に手を挙げる自治体があるのか 2 実際、処分時に他国の技術で処分するのか 3 処分方法が決まらずいつまでも将来に不安を残すのか 上記の他に各発電所は使用済み燃料をプールに保管しているが、2年以内に限界を迎える発電所を筆頭に続々満杯となる。そのあとに六ヶ所の再処理施設へ移動しても現在、94.5%とほぼ満杯状態。このような状況で処分の研究自体いらぬは無責任極まりない。処分研究に賛成も反対もない。上記問題を早期に解決できるまで研究を継続することを望む。	町内在住
47	11月25日	幌延町	FAX	72 ・継続でいいと思います。	町内在住
48	11月25日	幌延町	FAX	73 ・継続に賛成します。	町内在住
49	11月26日	幌延町	FAX	74 ・研究を続けて行って頂きたい。	町内在住
				75 ・今後のために必要な研究であると考えます。	
				76 ・日本国中の先を見据えるためにも延長研究して頂きたいです。	
50	11月25日	幌延町	郵送	77 ・約束の20年程を過ぎても延長すると聞き驚きです。3者協定を守るとされているものの、ズルズルと引き延ばし、最終処分場にすべく、水面下できめられているような気がしないでもありません。	町内在住
				78 ・今の研究施設もたくさんの人の反対を押し切って実現しました。（20年程かかって）町は、賛成・反対と2分され、道端で立ち話もできない、飲みにも行けない…。結果、「物言わぬ町民」の雰囲気があり、とてもいやな時期もありました。こんな小さな町にそんなことは、絶対にいやです。みんな仲良く楽しい町でなければ…。	
				79 ・何を研究するのか、あまりはっきりしていません。核のゴミは日本のあちこちに分散すべきではありません。原発を作ってしまったからには、その敷地内で処分すべきです。日本中、核のゴミだらけにしていいのでしょうか。世界にほこれますか。	
				80 ・核燃で働いている人々に罪はありません。皆いい人ばかりです。町は人口減をおそれ、延長に賛成かと思いますが、問題は別です。人口を増やすために、もっと、いろいろ考えるべきでしょう。核燃頼みの幌延町では困ります。	
51	11月26日	幌延町	幌延町生涯学習センター持参	81 ・賛成です。	町内在住
52	11月25日	幌延町	幌延町生涯学習センター持参	82 ・「高レベル放射性廃棄物」の地層処分は計画しないことです。その理由として、日本には適した地はありません。火山、活断層、地下水をみても、2017年に「化学的特性マップ」が公表されましたが、大同小異、ほぼ同じです。安全と確認されてもドイツのアッセII核廃棄物処分場のように、一旦処分したものを回収することを決定したところでもあります。	町内在住
				83 ・幌延深地層研究センターにおいて、調査技術やモデル化、解析技術が実際の地質環境に適用して、その有効性が示された時が「技術基盤の整備の完了」を意味するとありますが、その時はここが処分地として有効ということですか。有効性が示されなければ日本において地層処分は行われぬということになるのでしょうか。	
				84 ・地層処分は、工事開始から終了まで約100年、ガラス固化体に含まれる放射能の減衰まで100万年。この期間の活断層の変化・地下水の動きをどのように予測することができるのでしょうか。ですから、幌延地層研究センターにおける研究には即刻終止符を打ち、埋め戻すべきです。	
				85 ・三者協定が、もろくもくずれることのないことを祈っています。国策ほど恐ろしいことはありません。過去をふりかえってみれば明らかです。	

『「令和2年度以降の幌延深地層研究計画（案）」に係る確認結果』に係る意見【受付期間：令和元年11月8日から令和元年11月27日まで】

整理番号	日付	住所	提出方法	意見の内容	備考	
53	11月26日	幌延町	役場持参	86	・幌延深地層研究計画延長について意見を申し上げます。結論としては、当然、処分場選定まで研究を進めるべきものと考えます。	町内在住
				87	・延長理由として一部研究に遅れたことも一つあると思いますが、確認会議で出ている国内外の地層処分を巡る状況変化などが重要な延長要因だと思います。研究する過程で課題が出てくるのは至極当然のことですし、柔軟にそれら課題を徹底研究し成果を出すべきです。	
				88	・一部マスコミによると「なし崩し的に処分場にする疑念が深まった」と記述しているが、現在の環境を考えると、どこかの機関が、幌延町での処分場建設について仮に検討したとしても、北海道条例、幌延町条例そして三者協定を全く無視して処分場建設が可能かどうか議論の余地はありません。	
				89	・幌延町は国の施策に協力し、それを一つの地域振興策として進めてきたことが、幌延町ばかりではなく、周辺自治体にも交付金が交付されており各地域で活用されていることを考えると決して間違った施策ではなかったと思います。原子力機構には、今後も更なる丁寧な説明と積極的な研究を続けるよう要望します。	
54	11月25日	幌延町	FAX	90	・私たちが暮らす日本は、電力のエネルギー資源となる石油等の鉱物は乏しく、日本独自で安定した電力を提供するためにも原子力エネルギーは必要であると思います。	町内在住
				91	・さらなる研究の成果により、安定した電力を、子どもから高齢者の暮らしを支える社会福祉事業所などに低価で供給していただきたいとお願い申し上げます。	
55	11月26日	幌延町	役場持参	92	・データの収集不足等ある状態での研究終了はあり得なく、研究延長は必要である。	町内在住
				93	・日本が地層処分の先進国となり、他国への技術提供できる立場になるべきである。幌延の研究延長はそのためにも必要である。	
56	11月26日	幌延町	役場持参	94	・幌延町での研究延長は望ましいと思います。	町内在住
57	11月26日	幌延町	役場持参	95	・私は賛成です。なぜなら、今日までの幌延町にとって有益な事業であったからです。（町内の様々な催事への費用）今後も研究がスムーズに行われることを祈っております。	町内在住
				96	・個人的に気になるのは埋め戻しに関してです。すぐに埋め戻してしまうのでしょうか。他の利用方法はないのでしょうか。そのまま”見学施設として生かす”、”火力発電所が出た灰を土の代わりとして埋める”、”最終処分場の予備候補地として何年か先まで保管しておく”などいかがでしょうか。すみません、きっと色々なことを議論されてますよね。とりあえず、私は研究の継続に賛成です！！	
58	11月26日	幌延町	役場持参	97	・現在、幌延深地層研究センターで行われている研究は、地層処分を実現するために重要である。研究成果が可能な水準に達していないと評価された状態で当該研究を終了することは無責任であり、安全面における信頼性が確保されるまでは進めるべきだと考えます。	町内在住
59	11月26日	幌延町	役場持参	98	・『「令和2年度以降の幌延深地層研究計画（案）」に係る確認結果』において、示された幌延深地層研究センターの必要性、妥当性、三者協定との整合性は、幌延町で研究が継続して行われる事由として充分だと思う。また、地層処分研究開発は、国に必要なものであり、協定を遵守し、放射性廃棄物を持ち込まず、これまで通りに研究が幌延町で行われることは、幌延町にとってもプラスであると思う。	町内在住
60	11月26日	幌延町	役場持参	99	・計画の期間延長に賛成します。	町内在住
				100	・幌延町のことを何も知らない人たちが「反対！・反対！」と幌延町に来て叫ばれても困る。	

『「令和2年度以降の幌延深地層研究計画（案）」に係る確認結果』に係る意見【受付期間：令和元年11月8日から令和元年11月27日まで】

整理番号	日付	住所	提出方法	意見の内容	備考	
61	11月26日	幌延町	FAX	101	・幌延深地層研究センターは、これからも必ず廃棄物として出てくる放射性廃棄物の処分方法の研究に特化し、20年近くその成果を国内外に発信しています。研究には期間を定めても思うように成果が上がらない事が多くあり、本当に確定・確信出来るまでには多くの年月が必要です。	町内在住
				102	・原子力発電所を止めても出続ける高レベル廃棄物処分の研究は、最終処分地が決まっても続けていかなければなりません。三者協定のもとで町内には核廃棄物を持ち込まない事が明記されており、町民の大多数がこのまま研究を続けてほしいと判断していることを鑑み、10年程度の延長は当然の事と思います。	
				103	・周辺地域に対する人的・動的にも経済効果が大きい。	
62	11月26日	幌延町	FAX	104	・幌延町に核のゴミを持って来る事は絶対あり得ない話であり、もしそんな事があれば反対し追い返してしまう事であろう。周辺の町に迷惑はかけられないし、どんなにお金を払われても受け入れる考えは持ち合わせていない。	町内在住
				105	・地層処分の研究に適した地層である事は有効に活用して頂く事は賛成だ。職員の方達も大変気さくで好感も持てるし、町への貢献もしてくれている。いずれ出て行ってしまうのは大変残念だが、この研究が世界人類のために役立つ事を切に願うばかりである。	
63	11月26日	幌延町	役場持参	106	・深地層の研究はとても大事だと思います。幌延での研究は協定をしっかりと守って続けるべきだと思います。	町内在住
64	11月27日	幌延町	役場持参	107	・確認会議で確認できた主な内容については概ね理解いたします。 1 必要性については、幌延深地層研究センター及び地下研究の重要性と必要性が書かれており十分理解できるものです。特に、幌延深地層研究センターの意義や役割についての中で、国民の地層処分に関する研究開発の理解を深める場として確認しています。ここは非常に重要な問題で、国民の理解なくして地層処分を進めることは困難だと考えています。研究施設であると共に、広報施設という認識にあるということは非常に重要なことだと思います。 2 妥当性については、「研究終了までの工程とその後の埋め戻し」についての中で、再度の研究延長の要請があっても協議が整わなければ研究を終了するとありますが、あえて記述したのは何故でしょうか。反対派への配慮なのか、それとも、この研究に対する北海道のスタンスが消極的なののでしょうか。もしそうであれば、北海道が定めた特定放射性廃棄物に関する条例の「試験研究の一層の推進が求められており、その処分方法の試験研究を進める必要がある。」とする内容に反する姿勢ではないのでしょうか。また、試験研究を進める必要がないという判断に至った場合は、条例を廃止すべきだと思います。	町内在住
				108	・幌延深地層研究センターの研究は、外部の専門家により評価を受けています。JAEAが独断で判断をして研究延長を申し入れしているわけではありません。それにも拘わらず協議が整わない事態が起きたとすれば、それは専門家が導き出した結論に異を唱えたということであり、到底理解することはできません。	
				109	・国は特定放射性廃棄物は地層処分すると法律で決めました。そのための研究です。将来くるであろう最終処分場の地域と、そこに暮らす人々の安全を確保するための研究です。研究期間が問題なのではなく、最大限の安全を担保し得る技術基盤の整備が確保できたのかが問題なのです。そのために必要な研究があるならば、必要なだけ研究を続けることを望みます。	
65	11月27日	幌延町	役場持参	110	・今回の申し入れに係る確認結果内容について、様々な意見が有ると思うが、最終処分場が決まっていない状況で、地層処分研究を唯一行っている幌延町の研究が終了する事はおかしいと思う。	町内在住
				111	・地層処分研究の技術の確立もされずに我々が出した核のゴミを後世の人達に処分を委ねるのは無責任である。	
				112	・日本のどこかに処分場建設地が決まるまで、幌延町の研究は続けるべきである。	
				113	・三者協定に基づき、処分研究開発を進めていただき、開かれた研究の場として、今後も国内外から注目される様な施設となる様期待します。	
66	11月26日	幌延町	郵送	114	・外部委員会の評価結果では、技術の確立が可能な水準に達するまで一部研究に遅れがあった事で成果が十分に得られていない研究があり、継続研究が必要であるとの事なので是非続けられるよう賛成します。	町内在住
				115	・目に見えない危険なものなので、安全に地層処分ができるよう研究は必要と思います。	

『「令和2年度以降の幌延深地層研究計画（案）」に係る確認結果』に係る意見【受付期間：令和元年11月8日から令和元年11月27日まで】

整理番号	日付	住所	提出方法	意見の内容	備考
67	11月25日	幌延町	郵送	116 ・町研究センター2001年～20年程度計画で三者協定の中で20年程度と三者協定と町と道民に約束して来たが、機構は来年度以降の研究計画案で瑞浪も幌延もともに「おおむね適切に研究が遂行された」とする同じ文言の外部専門家の評価を紹介されている。瑞浪は終了、幌延は引き続き研究開発が必要と研究期間延長理由もあいまい。人工バリアー性能確認試験、本家本元の下北高レベル廃液ガラス固化体技術が確立されておらず、頓挫している。にっちもさっちもいかなくなっています。日本科学者会議も地中処分は見直すべきと提言しています。	町内在住
				117 ・道民から募った意見でも研究延長の理由、必要性に対し疑問の声が多くあります。外部委員会等々の評価を踏まえ研究継続が必要とあいまい答えに終始。よってなし崩し的な研究延長には反対である。	
68	11月27日	幌延町	役場持参	118 ・幌延町での深地層研究の延長を支持します。これは、国家プロジェクトであると思うし、研究することに、これで終了という事は、無いと思う。	町内在住
				119 ・廃棄物処分場誘致するであろう自治体のためにも、安心して決断できるようにするのも、幌延町の責務と思う。これに反対する組織、団体はただなんでも反対で、どうしたらいいのかという提案もなく20年間であった。	
69	11月27日	幌延町	FAX	120 ・深地層研究センターは必要です。これからも廃棄物は続き、その為に皆、勉強と研究の毎日だと思います。このままの状態です。幌延町で研究をして下さい。町の活性化に繋がります。	町内在住
70	11月27日	幌延町	FAX	121 ・これからの町のためにも深地層研究センターは必要です。研究者の皆様にはこれからも研究を続けてほしいです。	町内在住
71	11月27日	幌延町	FAX	122 ・原子力発電のため、深地層研究所は必要です。その為に研究を続けて行ってほしいです。町の活性化にもつながります。	町内在住
72	11月27日	幌延町	役場持参	123 ・北海道や幌延町のHPで確認会議の議事録を確認しましたが、いつも見る新聞の記事で見た内容と全くと言っていいほど内容が違って驚きました。確認会議の中では、原子力機構から申し入れのあった研究計画案の内容について慎重に審議されたうえで、理論的に幌延の研究施設が最終処分場に転用されることはないことも確認されていましたが、そのことは全く取り上げられていません。憶測や少数意見を誇張し、情報が少ない私たち道民の不安をいわずに煽り、世論の誘導を目論んでいるのではないかと、とても不安に感じましたし、恐ろしくも感じました。	町内在住
				124 ・放射性廃棄物の最終処分に関する研究開発は喫緊の課題だと思います。日本の将来のためにも、しっかりと研究を行い、有意義な成果をあげていただきたい。	
73	11月26日	幌延町	役場持参	125 ・地域振興、雇用など地域に果たしている役割は大きい。研究の延長をお願いしたい。	町内在住
74	11月26日	幌延町	役場持参	126 ・安心、安全が確保されるまで研究は続けてほしい。	町内在住
75	11月26日	幌延町	役場持参	127 ・研究を続けてほしい。	町内在住
76	11月26日	幌延町	役場持参	128 ・地域振興、雇用のため、幌延町に必要な研究施設と思う。	町内在住
77	11月25日	幌延町	役場持参	129 ・研究延長に賛成です。幌延町に必要な研究施設だと思います。	町内在住
78	11月25日	天塩町	役場持参	130 ・研究の延長をお願いしたい。	町内在勤
79	11月25日	幌延町	役場持参	131 ・研究の延長をお願いしたい。地域振興、雇用の為、まちに必要である。	町内在住
80	11月25日	幌延町	役場持参	132 ・幌延町にとって地域振興や雇用のため、必要な研究施設である。	町内在住

『「令和2年度以降の幌延深地層研究計画（案）」に係る確認結果』に係る意見【受付期間：令和元年11月8日から令和元年11月27日まで】

整理番号	日付	住所	提出方法	意見の内容	備考
81	11月26日	幌延町	役場持参	133 ・ 研究の延長をお願いしたいです。	町内在住
82	11月26日	幌延町	役場持参	134 ・ 研究を続けてほしい。	町内在住
83	11月26日	幌延町	役場持参	135 ・ 研究を続けてほしい。	町内在住
84	11月26日	幌延町	役場持参	136 ・ 研究を続ける事によって、地域振興や雇用の促進に繋がるので研究を続けて欲しいと思います。	町内在住
85	11月26日	幌延町	役場持参	137 ・ 研究の延長が必要となり、継続していくことは理解できた。	町内在住
				138 ・ 必要性について、細かな説明が町民に対してなされると、より理解が深まるように思う。成果の得られた研究についても分かりやすい形で公開してほしい。	
				139 ・ 三者協定を遵守し、安全に配慮し、これからも研究を続けてほしい。	
				140 ・ 意見書は、もう少し募集期間を長くしてはどうか。アンケート形式で答えやすいようにすると、意見も集めやすいように思う。	
86	11月12日	幌延町	幌延町生涯学習センター持参	141 ・ 計画延長には大いに賛成である。	町内在住
				142 ・ 地域への経済効果、町への交付金（隣接町村も含む）	
				143 ・ 瑞浪の研究終了に伴い、国内で1つの処分技術の研究は不可欠である	
				144 ・ 将来の処分場へ地層処分技術は最も重要であり、まだまだ研究課題は残っていると思う。もっと時間をかけて研究すべきである。	

	提出者数	意見数
幌延町	71	129
稚内市	6	6
豊富町	4	4
天塩町	5	5
計	86	144